



学校だより8号

西崎特別支援学校

TEL098-994-6855 令和8年1月6日発行 発行責任者 校長 稲田洋一
FAX098-994-6856 学校ホームページ www.nishizaki-sh.open.ed.jp/

教育目標

- ・心身ともに健康で明るく、たくましい幼児児童生徒
- ・自分のことは自分でできる幼児児童生徒
- ・心豊かで思いやりのある幼児児童生徒
- ・最後まで努力し、自分の持てる力を發揮し喜んで働く幼児児童生徒

校長あいさつ

あけましておめでとうございます。 西崎特支の子どもたちとご家族のみなさまが元気に新しい年をむかえられてうれしいです。

今日は、西崎中学校3年の成田桜（なりた さくら）さんを紹介します。桜さんは本校小学部5年生男児のお姉さんです。「沖縄県少年の主張大会」で最優秀賞（さいゆうしゅうしょう）をうけ、弟さんとのくらしから「だれもが自分らしく生きていい」と語りました。→参照:[糸満市広報ホームページ](#)

ぜひ、みなさんにも読んでもらいたいと思い、桜さんとご家族の承諾（しょうだく）を得て、ここに紹介します。ひとりひとりのちがいを認め合い、あたたかくつながる年（とし）にしていきましょう。今年は午（うま）年。共生社会とみんなの歩みが、うまく（午年だけに！）進む1年になりますように。

令和8年1月吉日

自分らしく生きるということ 西崎中学校3年 成田 桜

「障がい者の家族」。

この言葉を聞いて、皆さんは何を思いますか。

私には、ソトス症候群の弟がいます。ソトス症候群とは、2万人に1人という割合で発症する病気だと言われています。出生時から頭や体つきが大きく、発達の遅れなどが特徴です。弟は11歳になりますが、まだ言葉を話すことができません。突然に癲癇を起こしたり、自分で自分のことを叩いたり殴ったりする自傷行為もあります。

弟に障がいがあるとわかったのは、彼が生後2か月の頃でした。それでも、私にとってはかわいい弟です。生まれた時から姉弟として、ごく普通に過ごしていたので、私にとっては何の違和感もなく一緒に育ってきました。

しかし私は、物心がついた頃には、弟の障がいのことと「人の目」を気にするようになっていました。家族で出かけた時には、友達や知り合いに会わない場所を選んだり、病院や買い物の時も、周りの視線はいつも弟で、ジロジロ見てる気がしてなりませんでした。偶然、友達に会ってしまった時に、「あの子、桜の弟？」

と聞かれると、

「…うん。」

と、何ともばつが悪い返事しかできず、自信をもって弟を紹介することもできませんでした。

そんなある時、家族で外食をする機会がありました。弟のこともあって、個室のある部屋を予約し、人目を気にすることなく食事を楽しんでいました。すると弟が急に、大きな声で泣いたり叫んだりし始めました。私たちにとっては日常茶飯事の出来事でしたが、あまりに収まらない弟の癪に、隣の男性が、

「おい！うるさいんだよ！泣きやませろ。まったく、しつけがなってないんだよ！」

と怒鳴りこんできました。私も怖くなり、震えて涙が止まりませんでした。言い返せない自分にも情けなくて、責められている母を見るのも苦しく、悔しく、とても辛かった…。

「なぜそこまで言われなければならぬのだろう。なぜ、弟のことでこんなに悩み、いやな気持ちにならなければいけないの？」

この頃から、そんなことを考えるようになり、「弟がいなければよかったのに。」と、思うようになっていきました。次第に、一緒に歩くことも避けるようになり、弟への悩みばかりが増えていきました。

ある日の休日、母の誘いで、弟の通う特別支援学校の授業参観に付き添うことになりました。弟の様子を見ていると、授業中は静かに先生の話を聞いていました。近くに私と母がいても、自分でできることは私たちに頼らずに活動しています。身体を動かすことにも意欲的で、一つ一つの動作から、弟が成長していることを感じました。思えば、弟はいつの間にか、自分一人で服を着ることができるようになっていました。一人で靴を履くこともできるようになりました。うまく話すことはできなくても、私たちが話した内容を理解できるようになっているのも事実です。

「ああ、弟は、弟なりに、一生懸命努力していたんだ。」

そう気づいたとき、私の中に熱いものがこみ上げてきました。弟には弟にしかない、才能や個性が備わっている。障がい者だからできない、仕方ないではなく、それを同じ人間として認める心が、何よりも大切

なのではないかと感じ始めたのです。今まで、他人の視線ばかり気にして、「なんで私の弟だけが障がい者なのだろう」と、卑屈になっていた私を、心から悔みました。

世界には何十億もの人が暮らしていますが、誰ひとりとして同じ人間はいません。それぞれに個性があって、生きる価値があります。抱える悩みが違うのも当たり前。私は、弟の病気と向き合うことで、障がい者の方も、悩みを抱えるすべての人たちが、生きやすい世の中になってほしいと思うようになりました。

物事を見る時は、いつでも「心の目」を大切にすること。そして、「誰もが自分らしく生きていい」ということ。弟が、私に教えてくれたことが、豊かな世の中に繋がっていくと信じています。

1月行事予定

| | | | |
|---------|--------------------------------------|---------|---|
| 6日 (火) | 3学期始業式 | 20日 (火) | スクールカウンセラー来校 (午前) |
| 7日 (水) | (小高) パン販売 (買い物学習) | 21日 (水) | 振替休日 (学習発表会) |
| 8日 (木) | 児童会・生徒会役員選挙告示 (小中高) | 22日 (木) | 特別支援学校技能検定 (高) |
| 9日 (金) | スクールバス利用説明会 | 24日 (土) | 学習発表会 (小・授業参観 2~3校時) (中・販売会、高・販売会及び展示会) |
| 10日 (土) | 二十歳を祝う会 | | |
| 13日 (火) | 月曜日課 (※下校時間は火曜日課と同じ) 言語聴覚士来校 (午前) | 26日 (月) | 職業・事後学習 (高) 給食週間~30日 |
| 14日 (水) | PTA 役員会・評議委員会 作業療法士来校 (午前) | 27日 (火) | 校外学習 (小5) |
| 16日 (金) | くろしお号 (10:00~11:00) | 28日 (水) | 校外学習 (小3) |
| 19日 (月) | 臨時検診 (特体連駅伝前) | 30日 (金) | 校外学習 (小4) 特体連駅伝試走会 (中高) |